

長期休業中の過ごし方について

子どもたちが楽しみにしている長期休業が有意義なものになるように、学校では以下の内容を指導します。ご家庭でもその意義をご理解いただき、下記の事項についてご指導をお願いします。

夏休みについて

夏休みの意義

- 1 個人にあった学習や必要な学習を継続してできるようにし、計画的な生活を送る。
- 2 家庭生活を通して、家族の一員としての結びつきを深める。
- 3 長期休業でなければできないようなことに取り組む。
- 4 社会的行事への参加や地域の人々との触れ合いを通して、豊かな経験をし、社会性、協調性を育てる。
- 5 海、山、川などの自然に触れ、見聞を広める。
- 6 心身の休養を図り、体力を養う。

楽しい夏休みにするために…

- 1 規則正しい生活ができるようにご指導ください。
 - よい習慣を身に付けさせましょう。
 - ・ 基本的な生活習慣を大切にさせる。
 - ・ 計画的に学習を進めさせる。
 - ・ 午前10時前は、友達をさそわせない。
 - ・ 午後5時までには家に帰らせる。
- 2 計画にそって継続して取り組み、成し遂げた喜びを味わえるようにしてください。
- 3 家族の一員としての自覚を持たせ、お手伝いなどをさせてください。
- 4 地区子ども会や地域の行事には、積極的に参加させてください。
- 5 進んで体を鍛えられるようにしてください。
 - 夏のスポーツや水泳などに取り組ませる。
 - ラジオ体操などには進んで参加させる。
 - 暴飲暴食に注意させる。
 - 健康診断で病気などが見つかった人は、この機会に治療させる。
- 6 健康で安全な生活がおくれるようにさせてください。
 - 窃盗、暴力、いじめ、空き家への出入りなど反社会的な行為は絶対にしないよう改めてご指導ください。
 - 交通事故には十分に気をつけさせる。
 - ・ 交通ルールを守り、飛び出しは絶対にしないように声をかける。
 - ・ 道路での遊びをしないようにさせる。
 - ・ 正しい自転車の乗り方をし、二人乗り、右側走行、片手運転など危険な運転を絶対にしないよう声をかける。
 - 水の事故に気をつけさせる。
 - ・ 子どもだけで、川や沼などで泳いだり魚をとったりさせない。

- 誘拐や暴行、恐喝などの被害にあわないように気をつけさせる。
 - ・ カラオケ、ゲームセンターなどへは、子どもだけでは行かせない。
 - ・ 「いかのおすし」を徹底させる。
 - ・ 子ども110番の家や、周りの人に助けを求めることを教える。
 - ・ 不審者情報等、気になる話があったら、すぐに110番通報する。その際、必ず学校へも連絡する。
- 火の取扱いには十分に注意させてる。
 - ・ ライターはぜったいに使わせない。
 - ・ 花火は大人の人と一緒にやらせる。
- 工事現場や資材置き場などの危険な場所で遊んだりさせない。
- 遊びに行くときは、（行き先・一緒の友だち・何時に帰るのか）を家の人に告げるようにさせる。
- 夜の外出や遠方への外出が必要なときは、必ず家の人同伴する。
- 友達同士のお金やゲームカセット、ゲーム機の貸し借りは絶対にさせない。

読書のすすめ

- 夏休み中の本の貸し出しを行います。継続的な読書に役立たせてください。秋には読書感想文のコンクールもあります。よい本をたくさん読ませてください。

自由研究のすすめ

- 長い休みでなければできない研究に取り組みたいものです。理科の自由研究に限らず、様々な分野の自由研究に取り組めるよう、励ましてください。

冬休みについて

冬休みの意義

- 1 個人にあった学習や必要な学習を継続し、計画的な生活ができるようにする。特に、長期休業でなければできないことに取り組む。
- 2 家庭生活、特に年末年始の行事を通して、家族の一員としての結びつきを深める。
- 3 社会行事に積極的に参加し、豊かな経験をすることで、社会性や協調性を育てる。
- 4 心身の休養を図り、安全で楽しい休みにする。

安全で楽しい冬休みにするために…

- 1 規則正しい生活ができるようにさせましょう。
 - よい習慣を身に付けさせましょう。
 - ・ 基本的な生活習慣を大切にする。
(早寝・早起き、歯磨きなど)
 - ・ 計画的な学習をする。
(学年で課題が出ます)
 - ・ 午前10時前は、友だちをさそわない。
 - ・ 午後4時までには家に帰る。
- 2 家族の一員としての自覚を持って、お手伝いなどができるようにさせましょう。
 - ・ お手伝いを決めて継続的に取り組めるようにする。
- 3 地区子ども会や地域の行事には進んで参加させましょう。

4 進んで体を鍛えさせましょう。

- 冬のスポーツを楽しむ。(安全面には十分配慮してください。)
- 健康診断で病気など(歯や目の治療等)見つかった子は、この機会に治療する。

5 事故防止に努めさせましょう。

- 交通事故には十分に気をつけさせる。
 - ・ 交通ルールを守り、とびだしは絶対にしない。
 - ・ 凍結や積雪した道路での歩行は十分注意する。
 - ・ 自転車使用の判断は、家庭で十分検討し、判断する。
(学校では、冬期間は乗らないように指導しています。)
- 危険な場所での遊びはさせない。
 - ・ 工事現場や踏切などで遊ばない。
 - ・ 雪の積もった屋根の近くやつららの下がった所では遊ばない。
 - ・ 雪の積もった湖沼や川の近くでは遊ばない。
 - ・ たこ上げは電線の近くではしない。
- 誘拐や暴行、恐喝などの被害にあわないように気をつけさせる。
 - ・ 外出時には、(行き先、一緒の友だち、帰宅時間)を必ず家の人に告げる。
 - ・ ゲームセンターやカラオケなどへは、大人の人と一緒にいく。
 - ・ 子ども110番の家や、周りの人に助けを求める。
 - ・ 不審者情報は、必ず学校や警察へ連絡する。
 - ・ 夜や遠方への外出では、必ず家の人同伴する。
- 不審な電話は、親に代わるかすぐに切らせる。
 - ・ 絶対に友だちの電話番号など教えない。

6 その他

- 窃盗、万引き、いじめ、空き家への出入りなどは、絶対にさせない。
- お年玉や小遣いなどのお金は、計画的に使うようにさせる。
- お金や物(特にゲームカセットなど)の貸し借りは、させない。
- 火遊びはさせない。(ライターやマッチの管理をしっかりとる。)

春休みについて

春休みの心構えは…

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1 新しい学年への準備をする。2 規則正しい生活で健康を保持する。3 家族の結びつきを深める。4 安全で楽しい休みにする。 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

楽しい春休みにするために…

- 1 規則正しい生活ができるようにしましょう。
 - よい習慣を身に付けさせる。
 - ・ 早寝・早起きの習慣を崩さないようにする。

- ・ 計画的な学習をするようにする。
(教科書やドリルをもとに復習する)
 - ・ 午前10時前までは友達を誘わない。
 - ・ 午後5時までには家に帰らせる。
- 2 家族の一員としての自覚を持って、お手伝いなどができるようにしましょう。
- 3 地区子ども会や地域の行事には進んで参加させましょう。
- 4 進んで体を鍛えるようにしましょう。
- いろいろなスポーツにとりくませる。
- 5 事故防止に努めましょう。
- 交通事故には十分に気をつけさせる。
 - ・ 交通ルールを守りとび出しは絶対にしないようにする。
 - ・ 自転車乗りにつきましては、お子さんと十分に話し合い、判断してください。特に凍結や飛び出しについて指導をお願いします。
 - 危険な場所での遊びはさせない。
 - ・ 工事現場や踏切などで遊ばせない。
 - ・ 雪解け水で川が増水する危険があります。子どもだけで川遊びや釣りなどに絶対に行かせない。
 - 火遊びはさせない。
 - ◎ 不審者には十分に注意する。「いかのおすし」を守らせる。
 - ・ 不審者にあったら、大きな声を出し、逃げるようにする。
 - ・ 困ったときは、「子ども110番の家」か近くの家に逃げ込むようにする。
 - ◎ 不審電話には十分に気をつける。
 - ・ 保護者がいない場合は、その旨を告げ、電話を切るようにする。
 - ・ 友だちの名前や住所、電話番号を教えないようにする。
 - ◎ 通信販売の小包の配達には十分に気をつける。
 - ・ 身に覚えのない人から小包が届いたり、注文しない物が届いたりした場合は、絶対には開けないようにし、すぐに警察などに連絡をしてください。
- 6 健全な生活を送らせましょう。
- 窃盗・万引き・いじめ・暴力・喫煙・空き家への出入りなどの反社会的な行は、絶対にしないようにする。
 - お金・ゲームカセットの貸し借りやカードの交換、むだ遣いをしないようにする。
 - ゲームセンターやカラオケボックス等への出入りは、保護者同伴とする。
 - 遊びに行くときは、家の人に必ずことわってから出かけるようにする。
 - 携帯電話やインターネットは、「家庭でのルール」を決め、それを守って使うようにする。
- 7 その他
- 長い冬からの開放感もあってか、無計画で漫然とした生活、規則を破る行動をしがちです。注意して子どもの様子をみてください。

万一事故などが発生した場合には、至急学校または学級担任へご連絡下さい。